

英語学習サポート チュータリング

~English Study Peer-Tutoring~

マニュアル

【英語チューター用】

愛知教育大学 国際交流センター
英語サポートコーナー



目次

1. 目的
2. 意義と背景
- 3-1. 基本的な考え方
- 3-2. 基本的な考え方：学習塾との違い
4. 活動の定義と範囲
5. 活動内容例
6. 活動日時
7. 活動場所・媒体
8. 活動の流れ
9. 謝金
10. 注意点
11. 責任
12. Q&A ～こんな時は？～ 予定の変更・キャンセルをする場合
13. Q&A ～こんな時は？～ 学習者が当日キャンセルした場合
14. Q&A ～こんな時は？～ 教材が必要になった場合
15. お問い合わせ

1. 目的

※以下、英語チュータリングと呼びます。

1. チューターの教授能力および英語力の向上を図り、
チューターと学習者双方の成長を目指します。
2. 本学では学生の英語力向上に取り組むとともに、国
際理解を深めた教員および教育支援者の育成を目指
します。



2. 意義と背景

1. グローバル化が進む社会では、多様性を理解し、自分の言葉で伝える力がますます求められています。その基盤となるのが高い英語力です。こうした力を育む教育者は、未来を担う人材の育成において重要な役割を果たします。そのため、教育者自身の指導力と英語力を高める取り組みは不可欠です。
2. 小学校では中学年から外国語活動が導入されており、教員採用試験において英語資格保持者が優遇されるなど、英語力の高い教員の確保は各教育委員会にとって喫緊の課題となっています。



3-1. 基本的な考え方

1. 学生による学内での活動のため、高度な教育でなければいけないという訳ではありません。肩の力を抜いて、自分の能力でできる範囲で頑張りましょう。
2. 英語チュータリングは、学生の空き時間を活用して英語を学ぶ活動です。授業や実習など、他に優先すべき予定がある場合は、キャンセルや時間変更も可能ですので、学習者にご相談ください。
3. 一方で、学習者も皆さんのために時間を確保していますので、一定の責任感とマナーを持って参加することが求められます。やむを得ない事情を除き、安易なキャンセルはご遠慮ください。

3-2. 基本的な考え方： 学習塾との違い

比較項目	大学生チュータリング	学習塾の英語指導
主な目的	伴走・学習習慣の定着 英語力・指導力の向上	成績向上・志望校合格
指導の基盤	個人の経験・親近感	カリキュラム・受験データ
メリット	質問しやすい・柔軟性	体系的・高い専門性
デメリット	指導力にバラつきがある	自由度が低い場合がある

4. 活動の定義と範囲

1. 活動には明確な学習目標が設定されていること。
2. その目標に沿った内容で構成されていること。
3. 成果が報告可能な形で示されること。

○活動とみなされるもの（例）

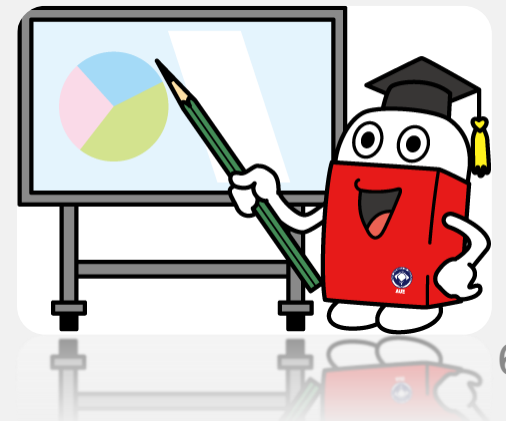
1. 学習上の目的を持った英語でのあいさつや近況報告
2. 教材としての短時間の動画視聴（TEDなど）

×活動とみなされないもの（例）

1. 目的のない英語での雑談
2. 長時間の動画視聴

5. 活動内容例

1. 英語の基礎力全般（発音、文法、語彙など）の強化
2. 実践的な英会話スキルの向上
3. TOEIC・英検・IELTSなどの英語資格試験に向けた対策
4. 効果的な英語学習方法に関するアドバイスの提供
5. 英語圏への留学に向けた準備と対策



6. 活動日時

1回あたり1時間、原則週1回。学期あたり最大12時間。

1. 対面

基本的に、以下の時間帯を活動時間とします。

- ①09:30 – 10:30 (1限)
- ②11:00 – 12:00 (2限)
- ③12:20 – 13:20 (お昼)
- ④13:20 – 14:20 (3限)
- ⑤15:00 – 16:00 (4限)
- ⑥16:45 – 17:45 (5限)

2. オンライン

基本的に、9:00～20:00の時間帯とします。

大学休校日は、オンラインのみ可とします。



7. 活動場所・媒体

1. 対面

- ・学習者と相談の上、大学内で場所を確保してください。
- ・グローバルコモンズの部屋は、事前予約ができません。ただし、チュータリング当日、活動時間に空いている場合は利用できます。利用状況の確認は、国際交流センターまでお越しくください。

2. オンライン

本学ではTeamsの使用を推奨しておりますが、学習者と相談のうえ、双方にとって使いやすい最適なツールをご選択ください。



8. 活動の流れ

1. 英語サポートコーナーが、チューターと学習者をマッチング。
2. 英語サポートコーナーが、マッチングした学習者の情報および顔合せの日時・場所をチューターに連絡する。
3. 顔合せに出席する。
 - ① 学習者の学習目標を確認し、学習計画を作成する。
 - ② 初回チュータリングの日時・場所を決定する。
 - ③ お互いの連絡先を交換する。
4. 初回チュータリングを実施する。
 - ① 学習者に宿題を提示する。
 - ② 次回のチュータリングの日時・場を決定する。
5. チューター活動後、24時間以内に「実施報告書」を作成し、Teamsフォルダにアップロードして提出する。
6. 月初めに「実施確認表」を確認し、署名する。
7. 学期末に、謝金を受け取る。
8. 活動後アンケートに回答する。

9. 謝金

1. 本学の規定に基づき謝金を支給します。約3%の所得税が差し引かれます。
2. 謝金は、すべての活動が終了した後にまとめてお支払いします。
支給時期は、前期は9月末、後期は2月末の予定です。
3. レポートの内容が十分とみなされる場合は、チュータリング時間とは別に、1回のチュータリングで、原則として0.5時間分を足して支給します。
4. チュータリング時間と、謝金支給時間(レポート作成時間を含む)は、以下の通りです。

チュータリング時間	レポート作成時間も含む謝金支給時間
30分以上60分未満	1時間
60分以上90分未満	1.5時間
90分以上120分未満	2時間
120分以上150分未満	2.5時間

10. 注意点

1. 無断でのキャンセルは、厳に慎んでください。
キャンセルする際は、必ず事前に学習者と英語サポートコーナーへ連絡ください。
2. 継続できない事情が生じた場合は、速やかに国際交流センターに連絡ください。
3. 「実施報告書」は、必ず活動後24時間以内に提出してください。提出された報告書を基に謝金をお支払いします。チュータリング時間数にかかわらず、1回のチュータリングにつき報告書1枚の提出が必要です。
4. 学習者の学習状況や進捗、日程調整などについても、何か気になることがあれば、お気軽にご連絡ください。

11. 責任

1. 英語サポートコーナーからのメールには迅速に返信してください。
2. チューターは、英語チュータリング活動により雇用され、謝金はプロジェクト予算から支払われるので、チューターは責任を持って活動してください。
3. チューターへの支払いは、全てのチューターがレポートを提出してから行われます。チューター全員の支払いが遅れないように、期限を守って提出してください。

12. Q & A ～こんな時は？～ 予定の変更・キャンセルをする場合

1. 学習者と、次回の予定の変更やキャンセルを決めてください。
2. キャンセルや変更があった場合は、必ず英語チューターが、英語サポートコーナーへ、電話またはメールで連絡してください。



13. Q & A ～こんな時は？～ 学習者が当日キャンセルした場合

学習者が、チュータリング当日に無断でキャンセルした場合、以下のペナルティを課します。

- ・ 1回目：注意
- ・ 2回目：当該期のチュータリング利用禁止

このような事態が発生した場合は、速やかに英語サポートコーナーまで電話でご連絡ください。

なお、英語チューターがすでに約束の場所に来ている場合は、代替業務を行うことで謝金を支給できる可能性があります。そのためにも、すぐに英語サポートコーナーへご連絡ください。

14. Q & A ～こんな時は？～ 教材が必要になった場合

1. 国際交流センターのMini Libraryには、教材もありますのでご活用ください。ただし、国際交流センター内のコピー機の使用はご遠慮ください。
2. ご希望の教材がある場合、大学の予算で購入できる可能性があります。まずは英語サポートコーナーまでお気軽にご相談ください。（紙の教材のみ）

15. お問い合わせ

国際交流センター 英語サポートコーナー

Place: 教育交流館 1階

Phone: 0566-26-2175 (平日 9:00am - 3:45pm)

Email: aue-english@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

